科目名	政治史　　Political History						
科目担当者	千知岩 正継　　CHIJIIWA Masatsugu						
単位数	4	配当年次	２年	授業形態	講義	開講学期	通年
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	日本国内であれ国家間であれ、現在進行中の政治現象を把握・判断し、今後の政治を展望するには、理論や思想にくわえて歴史的な知識が必要になります。そこでこの授業では、現代の普遍的ないしグローバルな国際社会の成立とその変遷に関する歴史を振り返り、解説します。そのなかで、植民地主義や人種主義の歴史、人権規範の登場、国際機構の歴史など、国際政治史上の重要な個別テーマも扱います。						
授業の到達目標	①現代の国際政治の背景をなす歴史を理解できる。 ②現在と過去の政治的出来事を結びつけて考えられるようになる。						

授業計画・内容

1	授業の導入＋国際政治史	16	冷戦の起源と分断体制
2	近代主権国家体系の生成	17	グローバル化する冷戦①－ヨーロッパ冷戦の安定
3	ユトレヒト講和と勢力均衡	18	グローバル化する冷戦②－冷戦のグローバル化
4	アメリカ革命	19	冷戦体制の変容①－米ソ関係と同盟関係の変容
5	フランス革命とナポレオン戦争	20	冷戦体制の変容②－ベトナム戦争、二つのデタント
6	勢力均衡とナショナリズム①―ウィーン体制―	21	冷戦終結への道①－「新冷戦」
7	勢力均衡とナショナリズム②―ビスマルク体制―	22	冷戦終結への道②－さまざまな冷戦の終わり方
8	帝国主義の時代	23	湾岸戦争と新世界秩序
9	国際社会の組織化の始まり	24	ソ連解体
10	第一次世界大戦の衝撃	25	EU の誕生と深化・拡大
11	第一次世界大戦後の国際秩序①―ヴェルサイユ体制と連盟設立―	26	冷戦後の地域紛争・民族紛争①―ソマリア、ルワンダ―
12	第一次世界大戦後の国際秩序①―相対的安定期―	27	冷戦後の地域紛争・民族紛争②―ボスニア、コソボ―
13	国際秩序の崩壊―1930 年代の危機―	28	新興国台頭
14	第二次世界大戦①	29	21 世紀の国際政治①－9.11 から「アラブの春」
15	第二次世界大戦②	30	21 世紀の国際政治②－G ゼロの時代？

授業外学修 (事前学修)	前回の配布プリントの再確認、テキストの指定箇所の熟読（毎週 1.5 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	ノートの点検、配布プリントの設問の解答、テキストや参考文献の熟読、国内外の政治関連ニュースのチェック（毎週 2.5 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
期末試験	70%	①、②
リフレクション	30%	①、②

評価基準

秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合
優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合
良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合
可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合
不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合

教科書

小川浩之、板橋拓己、青野利彦『国際政治史―主権国家体系のあゆみ―』新版、有斐閣、2024 年。

参考文献

有賀貞『国際関係史―16 世紀から 1945 年まで―』東京大学出版会、2010 年。
有賀貞『現代国際関係史―1945 年から 21 世紀初頭まで―』東京大学出版会、2019 年。
佐々木雄太『国際政治史―世界戦争の時代から 21 世紀へ―』名古屋大学出版会、2011 年。
マーティン・ワイト　『パワー・ポリティクス』日本経済評論社、2025 年（大中真、佐藤誠、池田丈佑、千知岩正継、他訳）

その他

Moodle 上からのアナウンスで連絡をするのでメールの確認をしっかりすること